

「（仮称）新富谷市民図書館整備基本構想（案）」  
について語り合うアイデアキャンプ報告書

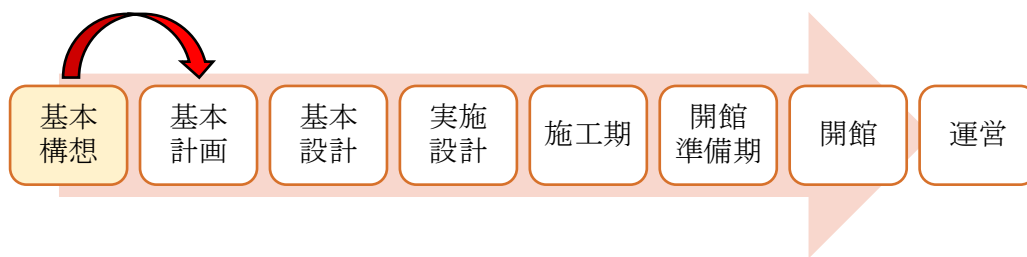
平成 30（2018）年 2 月 19 日

アカデミック・リソース・ガイド株式会社

## 1. 基本情報

平成 29(2017)年 12 月にまとめた、「(仮称)新富谷市民図書館整備基本構想」(案)に基づきながら参加者同士が、議論を深化させていくアイデアキャンプの開催を支援しました。

このアイデアキャンプで出された意見は、来年度策定が計画されている「(仮称)新富谷市民図書館整備基本計画」の検討事項となります。特に、多くの市民のみなさんが支持した意見を優先事項とし、来年度の基本計画の項目として検討していきます。



### 1.1. 開催日時

平成 30(2018)年

- ・ 2月2日(金)19:00~20:30
- ・ 2月3日(土)10:00~11:30

### 1.2. 会場

富谷役所市民交流ホール

### 1.3. 参加者数

- ・ 2月2日(金)19:00~20:30:8名
- ・ 2月3日(土)10:00~11:30 :10名

また両日とも富谷市教育部の職員がファシリテーターや書記、コーディネーターを務めました。



2月2日(金)



2月3日(土)

## 2. プログラム

両日のプログラムは以下の通りです。

### 2.1. 2月2日(金)

時間	内容
19:00～19:05	開会の挨拶 富谷市長 若生裕俊氏
19:05～19:15	「(仮称)新富谷市民図書館整備基本構想」(案)の説明 アカデミック・リソース・ガイド株式会社
19:15～20:20	フリー討論
20:20～20:25	各班で話し合われた内容のまとめ
20:25～20:30	閉会の挨拶 富谷市教育委員会 教育長 菅原義一氏

### 2.2. 2月3日(土)

時間	内容
10:00～10:05	開会の挨拶 富谷市長 若生裕俊氏
10:05～10:15	「(仮称)新富谷市民図書館整備基本構想」(案)の説明 アカデミック・リソース・ガイド株式会社
10:15～11:20	フリー討論
11:20～11:25	各班で話し合われた内容のまとめ
11:25～11:30	閉会の挨拶 富谷市教育委員会 教育長 菅原義一氏

## 3. 議論された項目

2日間のアイデアキャンプで、参加者により討議された項目をまとめました。特に多くの参加者が議論した項目については、項目名の隣に【議論された項目】と示しています。

### 3.1. 人

#### 3.1.1. 開設準備室

- ・ 専門の職員を置く

#### 3.1.2. 職員

- ・ レファレンス能力が重要
- ・ 職員の継続的な育成を行う

#### 3.1.3. 市民協働【議論された項目】

- ・ イベントはスキルや経験を持った市民が企画する

- ・ ボランティアコーディネーターを置く
- ・ 図書館サポーター組織を設立する
- ・ 既存の公民館図書室や学校図書館のボランティアをしている方々にも図書館整備のプロセスに参加してもらう等、潜在的な人材を掘り起こす

---

#### 3.1.4. 子どもの利用【議論された項目】

- ・ おはなし会や学習スペース等、子どもの居場所となる空間をつくる
- ・ 子どもがにぎやかにしても、よい環境をつくる
- ・ 小さい頃から図書館を利用すれば、生涯、図書館の利用者になるので、子どもたちに関心を高めてもらう取り組みを行う

---

#### 3.1.5. 障害者の利用

- ・ 障害者が気兼ねなく利用できる空間をつくる

---

#### 3.1.6. 子育て世代の利用

- ・ 女性だけではなく、男性も参加しやすい環境づくりや活動を行う

---

### 3.2. 施設

---

#### 3.2.1. 施設づくりの方向性

- ・ 6館併せて「富谷市民図書館」にする
- ・ 各分館に特色を持たせながらも公平なリノベーションをする

---

#### 3.2.2. 公民館のあり方【議論された項目】

- ・ 図書館ができて、公民館機能は維持する
- ・ 図書館機能が、公民館活動をサポートする等、補い合う関係をつくる

---

#### 3.2.3. (仮称)富谷市民図書館基金

- ・ 資料購入費や活動費の補助にする
- ・ 基金を利用して行った活動や収支の報告はしっかりと行う

---

#### 3.2.4. 長時間滞在型図書館

- ・ 飲食スペースを置く等して、長時間滞在ができる図書館にする

---

#### 3.2.5. 音対策(公民館)

- ・ サークル活動が行われる公民館はにぎやかな場所なので、図書館で静かに本が読みたい人のために音対策を行う

---

#### 3.2.6. バックヤード

- ・ 資料を保存するための広いスペースを確保する

---

### 3.2.7. 駐車場(公民館)

- ・ サークル活動が盛んなため、特に平日における駐車場の確保の仕方を考える

## 3.3. 資料

---

### 3.3.1. 計画策定

- ・ 蔵書計画や選書方針を策定する

---

### 3.3.2. 特色のあるコレクション【議論された項目】

- ・ 中央公民館は旧街道沿いにあるが、関連する郷土資料が少ない。中央公民館には郷土資料を充実させる等、各館の地域性を考慮し特色を持たせる

---

### 3.3.3. 「調べる学習」を支える資料

- ・ 富谷市が力を入れている「調べる学習」を支える資料をそろえる

---

### 3.3.4. 地域資料

- ・ 郷土史、宮城県史等、地域資料が富谷市には不足しているので充実させる

---

### 3.3.5. 児童書

- ・ 児童書はセンター館及び全分館に置く

---

### 3.3.6. 文芸書

- ・ 文芸書はセンター館及び全分館に置く

---

### 3.3.7. 配送

- ・ 資料はセンター館、分館間で循環させる

## 3.4. 活動

---

### 3.4.1. 市民活動【議論された項目】

- ・ 読み聞かせや映画上映会だけではなく、サークル活動の発表会を実施
- ・ 図書館で行われるイベント等を広く知らせることで、新規利用者の獲得につなげる
- ・ 高齢者や専門家の話を聞いて、記録を残す

---

### 3.4.2. 移動図書館

- ・ 町内会館や病院、イオン等、小さな拠点をいくつもつくる
- ・ 図書館に来られない人へ、市民が本を宅配するプログラムをつくる

---

### 3.4.3. 広報活動【議論された項目】

- ・ 知り合いからの口コミが有効なので、市民が図書館のことを他の人に伝えていく
- ・ 市民協働として、市民による広報活動を実施する

### 3.5. 他の機関との連携

#### 3.5.1. 市内の学校との連携【議論された項目】

- ・ 富谷市内の小・中学校図書館とシステムをつなぐ
- ・ 富谷高等学校の近くにはできるセンター館には地域資料を置いて、学習に役立ててもらおう

#### 3.5.2. 周辺の図書館との連携

- ・ 仙台市や近隣自治体の方々にも利用してもらおう

## 4. 今後の進め方

基本構想は、図書館整備における基本理念、基本構想実現に向けた基本方針をまとめたものです。次に策定される基本計画は、基本構想に示されている考え方を実現するために具体的に示される計画です。

今回のアイデアキャンプで特に支持され論点となった点は、基本計画に示される「新図書館を利用する市民の姿」「施設の整備方針」「新図書館でのサービス方針」「管理・運営」の項目事項として検討します。具体的な内容は以下の表をご覧ください。

### 基本計画策定において検討する項目

1. 新図書館を利用する市民の姿
  - ・ 子ども・子育て世代、障害者等、想定される利用者が、施設をどのように利用するのか具体的なイメージづくり
2. 施設の整備方針
  - ・ 公民館機能と図書館機能の融合のあり方
  - ・ 公民館図書室において、特徴を持たせたりノベーショナルの仕方
3. 新図書館でのサービス方針
  - ・ 図書館で行われる想定される活動と実施方法
  - ・ センター館及び各公民館図書室の特色のあるコレクションの内容
  - ・ 図書館に来られない人へ本を届ける方法の具体化
4. 管理・運営
  - ・ 図書館職員の持つべき能力と、継続的な育成への取り組み
  - ・ 蔵書計画、選書及び除籍の方針
  - ・ 市民協働の具体的なあり方

以上